



希望が丘

教育目標 「 自律 尊重 創造 」

《第4号》

上越市立名立中学校

電話 025-537-2204

Fax 025-537-2214

(令和3年9月17日発行)

令和3年度体育祭「君の心に領域展開 ～轟け、名中魂～」

9月5日(日)、体育祭を実施しました。前日は天候が心配されたことから1日順延しての実施となりましたが、この日は天候に恵まれ、爽やかな秋晴れのもと、全ての日程を予定通り行うことができました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために御来賓や地域の皆様の来場をお断りせざるを得ず、また種目やその練習が制限されたり、天候不順で練習日程が変更になったり、当日までは思い通りにならないことがたくさんありました。しかし、当日は青空の下、大きなけがもなく、全ての競技を無事に行うことができたことは、本当にありがたいことでした。

体育祭には学校行事としての目的があり、それを通して目指す姿があります。「呼び掛けられたら返事する」「駆け足で素早く行動する」「自分の役割をしっかりと果たす」「成功のために仲間と協力する」、当たり前のことのように感じられるかも知れませんが、体育祭の活動を通して、生徒たちの成長する姿を見ることができました。競技も、応援も、パネルも、そしてそのために働く生徒会総務、各委員会もみんな、それぞれ精一杯力を発揮して、求められた役割をしっかりと果たすことができたと思います。そして、いろいろな場面で温かい拍手を見ることができました。競技の最終走者に向けられたものであったり、相手の軍の応援に対する手拍子であったり、賞賛の拍手であったり、そういうことが自然にできる名中生の素晴らしさを改めて感じました。体育祭は終わりましたが、学校生活はようやく年度の半分を終えるところです。体育祭での成長を今後の日常生活に生かしてほしいと思い、これからの活躍にさらに期待をしています。

一日御参観くださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。皆様の御協力により、本当に気持ちよく体育祭を行うことができました。多くの方に温かく見守られた、大変幸せな体育祭でした。心より感謝申し上げます。来年は、地域の皆様、御来賓の方々も含め、さらに多くの皆様からおいいただき、名中生の活躍を御覧いただけることを願っています。



令和3年度「わたしの主張」 代表作文

3年生は国語の授業で、日頃考えていることをもとに意見文を書きます。書いた意見はクラスの中で発表し、その中でも特に優れた意見文を「少年の主張」上越地区大会に代表として応募します。今年度は3年生の意見文が代表となりました。本来は上越地区大会で実際に意見発表を行って県大会出品作品を決めるところですが、新型コロナウイルスの感染拡大に影響により書面審査となり、奨励賞をいただきました。2学期の始業式でも全校の前で発表を行ってくれた意見文を紹介します。

言葉の力を見つめて

名立中学校 3年生

私たち人間は様々な言葉を使っています。皆さんは、その言葉がもつ力について考えたことがありますか。世の中は言葉であふれています。言葉が無いと私たちはコミュニケーションができません。言葉は感謝や励ましなど人々を思いやる力がある一方、人を傷つける力もあります。みなさんも、たった一言で心が動かされた経験があると思います。

「さすがだね」これは私が言われて嬉しかった言葉です。私はポスターなどを描くのがとても好きで、満足いくまで工夫して描きます。時には「何か違うな」と納得いくまでやり直すこともあります。その工程が私にとって楽しく、面白い時間なのです。そうやって描いた作品を見た友達から「さすが!」と言ってもらえると、とても嬉しくなります。好きなことや得意なことを褒められると自信がもて、もっと好きになります。私も嬉しくなりました。私は「さすが」と言われて「もっとよくしよう、まだ工夫できるはず」とさらに上を目指そうと思いました。これをきっかけに、私も周りの人へプラスの言葉をかけるようになりました。「すごいね」「大丈夫だよ」「ありがとう」言う方も言われた方も嬉しくなります。

しかし、言葉には人を傷つける側面もあります。こんなことがありました。私は給食の牛乳を飲むと腹痛がひどくなることがあります。お腹がとても痛くて、なかなか動けなかった時に、クラスメイトから「演技している」と言われました。その瞬間、私はとても傷つきました。「本当に体調が悪いのに、なんでそんなことを言うのだろう。私がいけないの」と思いました。自分が本当につらい時にそんなことを言われるのは、悲しかったし、怒りも覚えました。今でこそ笑い話として話せましたが、本音を言えば悲しみでいっぱいでした。このように何気ない一言で嫌な思いをした人はきっと私だけではないでしょう。相手に悪意が無かったとしても、言われた方は傷つきます。私は、マイナスの言葉の方がプラスの言葉より、一言のもつ影響力が強いと思っています。

しかし、マイナスの言葉の力が強いままでいいのでしょうか。今、言葉のあふれる世界で私たちは生きています。一言の力の大きさは、会話などの話し言葉だけではなく、書き言葉も含めた様々なメディアやSNSを通して私たちに伝えられます。特にSNSでは、匿名であるという点から、相手のことを考えない発言が多いと感じます。皆さんも知っている通り、SNSで心無い言葉によって自ら命を絶ってしまった人もいます。たとえ一言でも、大勢の人から「一言」が集まったら、大きな言葉になります。その大きな一言の集まりは人を深く傷つけます。私たちは、一言の重さを正しく理解していないのではないのでしょうか。

「たった一言なんて、たいしたものではない」「たった一言で落ち込むなんて心が弱い」それは違います。言葉は、一言でも人を傷つける道具になるのです。

私は、言葉がマイナス面で終わらないようにするにはどうすればいいのか考えました。私の考えは、



言葉を言う前に、言葉を伝えたい相手の気持ちを、もう一度考えるということです。これはとても難しく、すぐにできるものではありません。私は、一日を振り返って自分がどう言葉を使ったかを思い出すだけでも、言葉を意識していることになるのではないかと思います。言葉は人を傷つける武器であり、人を癒す薬でもあります。私たちは言葉を武器ではなく薬として使うべきです。もう一度、自分が使っている、また、使ってきた言葉について振り返ってみませんか。それは今までより少しでも明るい未来につながるものであると信じて。皆さん、ぜひ考えてみましょう。

育樹活動ありがとうございました

2学期が始まってすぐの8月28日（土）、授業参観と育樹活動を行いました。1・2限の授業参観では各学年とも4～5名の保護者の方がおいでになりました。育樹活動では「希望の森」担当、グラウンド担当、「森青ヶ池」担当、植樹担当に分かれ、それぞれ作業を行いました。体育祭一週間前ということで、多くの皆様からお手伝いいただき、グラウンドや校舎の周りを大変きれいにいただきました。御家庭の草刈り機持参で来てくださった方も多く、生徒と職員だけでは行き届かないところを手際よく刈ってくださり、伸び放題だった希望の森や森青ヶ池の周りもすっきりさせることができました。学校の坂には紫陽花を植えていただき、これまでに植えたものと併せ、坂の上から下まで紫陽花の並木ができあがりました。御協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



北御牧からトウモロコシをいただきました!

9月1日（水）の給食に、長野県東御市（とうみし：旧北御牧村）産のトウモロコシが提供されました。これまで北御牧地区と名立区は様々な分野で交流を行い、子どもたちの交流会「北御牧・名立フレンドシップ！！海と山の交流会」が行われてきました。新型コロナウイルスの影響で交流会が2年連続で中止となったことから、今回、交流会の代わりに特産品を送り合って給食で食べてもらい、お互いの地域についての理解を深めようと計画されたものです。送られてきたトウモロコシは北御牧の特産品でとても甘くておいしいことで有名です。トウモロコシが苦手な人でも北御牧のトウモロコシは食べられるという人もいるくらいです。今回は蒸しトウモロコシにして、1本の半分ずついただきました。本当に甘くておいしいトウモロコシでした。名立区からはミズダコを送り、タコ飯にして食べてもらったそうです。来年は直接顔を合わせて交流ができるといいですね。



チーム名立中

今回は、毎日おいしい給食を作ってくださる調理員さんを紹介します。

調理員 I.Yさん

名立中学校にお世話になり、2年目になりました。「給食美味しかったです。」の言葉と、残食がないことがとても嬉しく、励みになっています。名立中の皆さんが毎日元気に過ごせるように、安心して食べられる給食を作っていきたいです。よろしくお願い致します。



調理員 S.Eさん

私は今まで人数の多い学校でしたが、初めて少人数の学校で、調理員の数も減り、1人ですることが多く最初は大変でしたが、ようやく慣れてきました。毎日異物が入らない様に注意し、美味しい給食づくりを心掛けていきますので、よろしくお願いします。



上越教育大学 学校支援プロジェクト

2学期の間、上越教育大学の学校支援プロジェクトで名立中に来てくださる2人の大学院生の方を紹介します。これは上越教育大が実習の一環として、学校課題の解決のために学生を派遣する事業です。名立中では、これから受検に向かう3年生を中心に、学力向上を目指し、主に数学の授業や放課後学習の支援に入っていただきます。また体育祭等の学校行事のお手伝いもしていただいています。お世話になります。よろしくお願いします。



上越教育大学大学院生 T.Mさん

(教育実践高度化専攻 学習臨床・授業研究コース 2年)

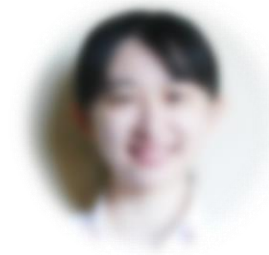
みなさんこんにちは。私は、群馬県前橋市出身で、昨年上越に来ました。上越や名立区のことをぜひ教えてください。大学では数学教育について学んでいます。数学の授業を中心に、みなさんと関わっていききたいと思います。よろしくお願いします。



上越教育大学大学院生 T.Yさん

(学校教育専攻 学校教育深化コース 文理深化領域 数学分野 1年)

はじめまして。東京都出身で、この春から上越に住み始めました。数学の問題は、実際の出来事と結び付け易い算数とは違い、抽象的でイメージし難いと思います。一緒に頑張っていきましょう。よろしくお願いします。



2学期も名立中学生・職員一同、全校体制で頑張って参ります。よろしくお願いいたします。